

前回の総会で皆様からいただいた意見への対応

前回いただいたご意見	対 応
(1) この機会に本県の教育の取り組みをPRしてほしい。	⇒エクスカーションでの学校訪問や、教育大臣会合会場内に設置予定の「とやま情報コーナー」でのパネル展示などにより、本県が実践している先進的な教育活動をアピールしてまいりたいと考えております。
(2) 教育の大切さや、富山・石川の教育の良さを県民が再認識する機会にしてほしい。	⇒教育講演会や高等教育シンポジウムなど、様々な関連行事により県民の理解を深める機会を提供したいと考えております。
(3) 子どもたちにも国際的な会議に触れる貴重な体験・機会を提供できるとよい。	⇒富山・石川両県の大学生の連携による教育大臣会合のロゴマークとポスターの制作や、学生ボランティアの募集、中高生が議論し宣言をまとめる「こどもサミット」、教育講演会や高等教育シンポジウムなどの関連事業、県PTA連合会「子どもフォーラム」などの応援事業など、子どもたちが大臣会合に関わる機会を設けられるよう努めております。また、「こどもサミット」の成果について、各国大臣と子どもたちが意見交換する場が設定されるよう、国と協議しております。
(4) 両県で共同開催するせっかくの機会なので、他にはない新しいメッセージを共同で出すとよい。	⇒石川県と協議のうえ、両県共同開催で「富山・金沢こどもサミット」を開催することとしました。本県では富山市内全 25 の中学校から、また石川県でも金沢市内全 24 の中学校から 1 名ずつが参加し、両県で自分と社会のよりよい未来についてグループ協議を行い、3月19日に「こどもサミット宣言」を採択します。その宣言は文部科学省に手交するとともに、教育大臣会合において各国大臣にも伝えられるよう、国と協議を行っております。また宣言はこども向けに作成する広報紙に掲載し、県内全域の児童生徒に周知してまいります。
(5) 忘れられないようなスローガンがあればよい。	⇒本日ご提示しましたスローガンを活用し、機運醸成を図ってまいりたいと考えております。

前回いただいたご意見	対 応
(6) SNS などネット上での発信も検討してほしい。	⇒県のHPだけでなく、県公式SNSも有効に活用して発信しております。
(7) 大臣は会合に忙殺されるため、同伴者に対するメニューを準備するとよい。	⇒エクスカージョンについては、大臣向けのコースのほか同伴者向けのコースを設定することとし、本県の魅力発信につなげてまいりたいと考えております。
(8) 開催前の機運醸成のため、開催地の街頭美化にも力を入れてほしい。	⇒教育大臣会合開催前に、会場候補地や駅周辺などにおいて花の装飾によるおもてなしや、清掃美化活動を実施することを検討しております。
(9) G 7 各国大使館職員へ、県としても情報発信を行うとよい。	⇒文部科学省の手配により、在京大使館職員を対象としたオンラインでの説明会や、来県視察が実施された際、本県の特徴や多彩な魅力があることなどを紹介したところです。G 7 各国からの参加者が快適に滞在できるよう、文部科学省と連携し大使館職員からの情報収集に努めるとともに、本県の準備状況や関連事業などの情報を大使館職員へも発信し、本県の魅力発信に努めてまいります。
(10) 「おみやげ」は旅の記憶を呼び起こすきっかけであり大事。かさばらなくて、他では手にはいないものが富山にはいろいろある。	⇒富山の伝統技術を伝えるかさばらない記念品を検討しています。お渡ししたものが何なのかを、英語でしっかりと伝えることや、実用的で帰国後に使用していただきやすいものとするなどで、富山の記憶を呼び起こしていただけるきっかけにもしたいと考えております。
(11) ノーベル街道をアピールポイントに入れるとよい。	⇒とやま情報コーナー内にてノーベル街道もPRすることを検討しております。
(12) 記録は写真だけでなく動画映像を残しておくとうい。	⇒大臣会合の準備や、こどもサミットなどの行事、大臣会合の成果などの記録映像を作成し広く紹介したいと考えております。